



理研ビタミン株式会社

証券コード：4526



個人投資家さま向け説明会

2023年9月5日

代表取締役社長 山木 一彦



1. 理研ビタミンの歴史



わかめちゃん

2. 事業紹介
3. 中長期的な成長戦略
4. 財務状況
5. 株主優待

商号	理研ビタミン株式会社
設立	1949年（昭和24年） 8月27日
資本金	25億3700万円
上場市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：4526）
代表者	代表取締役社長 山木 一彦
従業員数	957名（連結1,848名）（2023年3月31日現在）
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、食品用改良剤、 化成品用改良剤、ビタミン類などの製造・販売



理化学研究所の**天然ビタミンA**事業が原点



▲ビタミンA製品のポスター

- 理化学研究所の発明を自身で製品化する「理研産業団」のひとつから天然ビタミンA事業を引き継ぎ設立
- その後、合成ビタミンAが台頭⇒**事業継続の危機!**
- 会社存続のため多方面に事業を多角化（天然ビタミンA事業からは撤退）

魚の内臓からビタミンAを抽出・精製・濃縮



タラ・スケソウダラなど

抽出
精製



ビタミンAを含む油
(ビタミン油)

精製
濃縮



ビタミンA

魚の内臓
||
従来は捨てられていたもの

||
社会に貢献するもの

天然物の有効利用

ビタミンAの原料調達ルートを活用

1 ビタミンAの原料調達で 水産関係の人脈構築



- ビタミンAの原料となる魚の内臓の調達のため各地の漁港を行脚
- 人脈や情報網を構築

2 わかめ養殖技術の普及 に関する情報を得る



- 1950～60年代にわかめの養殖技術が確立
- 水産庁の奨励もあり各地で徐々に養殖が普及

3 養殖わかめの 全国販売を開始



生わかめ「わかめちゃん®」(1965年)



「ふえるわかめちゃん®」(1976年)
(発売当時の商品名は「ふえるわかめ」)

海藻サラダの添付調味料を商品化

1

海藻サラダに
青じそ風味のタレを添付



「生海草サラダ」(1986年)

2

お客さまから大好評
「このタレを売ってほしい」



テスト販売品



発売当時のボトル

「ノンオイルスーパードレッシング
青じそ」(1989年)

3

ノンオイルならではの
汎用性でブランド確立



現行品



2010年 ブランド名変更
「ノンオイルスーパードレッシング」
⇒ **「リケンのノンオイル」**

1. 理研ビタミンの歴史

2. 事業紹介 
わかめちゃん

3. 中長期的な成長戦略

4. 財務状況

5. 株主優待

ドレッシングとわかめの会社？



シェアNo.1!



・・・だけではない！のです

企業理念

天然物の有効利用を図る技術と商品で
人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する

経営理念

社会に対し、食を通じて
健康と豊かな食生活を提供する

コア事業



食品事業



改良剤事業



ヘルスケア事業

- 食品事業
- 改良剤事業
- ヘルスケア事業

スーパーで見かけるいろいろなものに



家庭用食品

おなじみの
ドレッシングや
わかめを販売



ビタミン

シリアルなどの
栄養バランスを
アップ



エキス・調味料

即席麺のスープを供給

酸化防止剤 (ビタミンE)

麺の酸化を防止



防曇剤

ラップや容器の
曇りを防止
(中身がよく見える)



職場や休日のレジャーでも



飲料用乳化剤

コーヒーとミルクの
分離を防いで
おいしさ長持ち



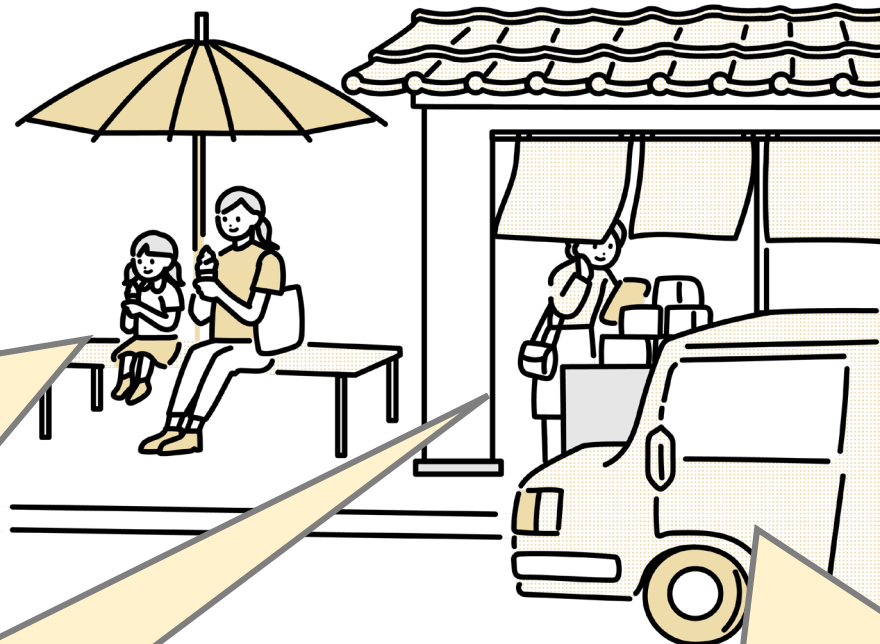
マイクロカプセル

香り成分を閉じ込め
タブレット菓子を
よりフレッシュに



冷菓用改良剤

ソフトクリーム
をなめらかに



製菓用改良剤

お土産菓子の
ふんわり感を
キープ



帯電防止剤/加工助剤

自動車用部品の
静電気を防止
加工性を向上

天然ビタミンAの生産技術を応用

有効成分の 抽出・精製・濃縮 技術



▼ エキスの抽出

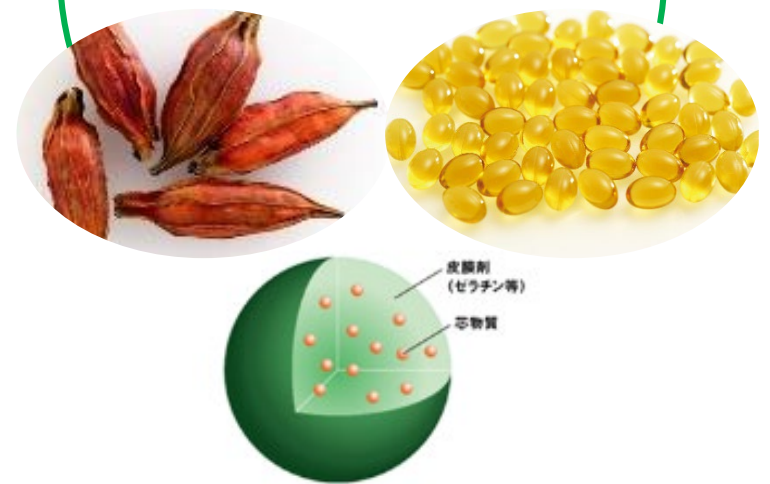
▼ 改良剤の高純度化

▼ 健康成分の抽出

食品事業
ドレッシング
海藻
エキス・調味料

改良剤事業
食品用改良剤
化粧品用改良剤

ヘルスケア事業
医薬品用原料
機能性食品用原料



BtoB (飲食店、給食、食品メーカー向けなど) にも幅広く展開

ドレッシング

海藻

エキス
・調味料

B to C



B to B

- 家庭用にはない味
大容量から小袋まで



- わかめの唐揚げなど
新しい食べ方を提案



- 和風・洋風・中華風
各種の調味料を品揃え



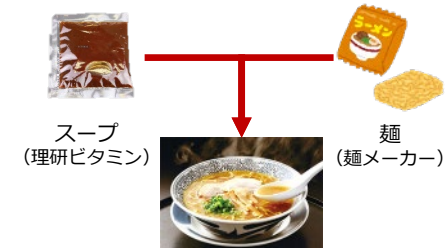
- 学校給食向けにアレルギーや
減塩に配慮した商品も



- 冷凍のもずくなど
わかめ以外の海藻も



- 即席麺のスープなども供給



天然由来の改良剤で食品・化粧品メーカーの課題を解決

食品用改良剤



食感改良、老化防止

パンをふんわりとした食感に時間が経っても硬くなりやすく



ほぐれ性改善、酸化防止

麺をほぐれやすく酸化を抑えて保存性向上



消泡、凝固調整

大豆を煮る際の泡を抑制にがりで固まるスピードを調整



着色

天然由来の色素を扱いやすく加工さまざまな食品に彩りを付与

化粧品用改良剤



防曇（ぼうどん）

食品用のラップや農業用ハウスのフィルムが水滴で曇るのを防ぐ



可塑（かそ）

硬い樹脂を柔らかくし、成型加工しやすく



帯電防止

静電気の発生を抑制埃の付着や電子機器への影響を防ぐ



衛生用品向け

- ・消毒用アルコールの抗菌性補助
- ・ハンドソープの起泡 など

“天然物の有効利用”で健康と栄養に寄与

祖業のビタミンA事業



ビタミン

- 天然ビタミンE
- 各種ビタミンを配合したビタミンミックス

※医薬品や食品の栄養強化、酸化防止に活用



機能性食品用原料

天然物から機能性成分を抽出

例)

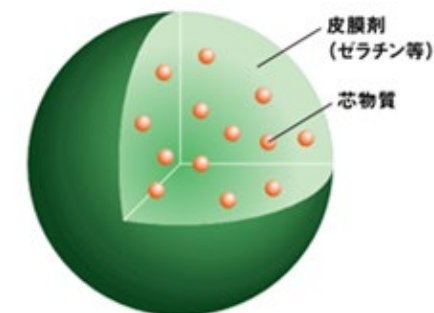
- クロセチン (クチナシ由来の色素)
- パプリカ由来カロテノイド
- メカブフコイダン



マイクロカプセル

ビタミンAの安定化技術

各種医薬成分の安定性や吸収性などの改善に応用



世界各国で食品用・化成品用改良剤を中心に販売



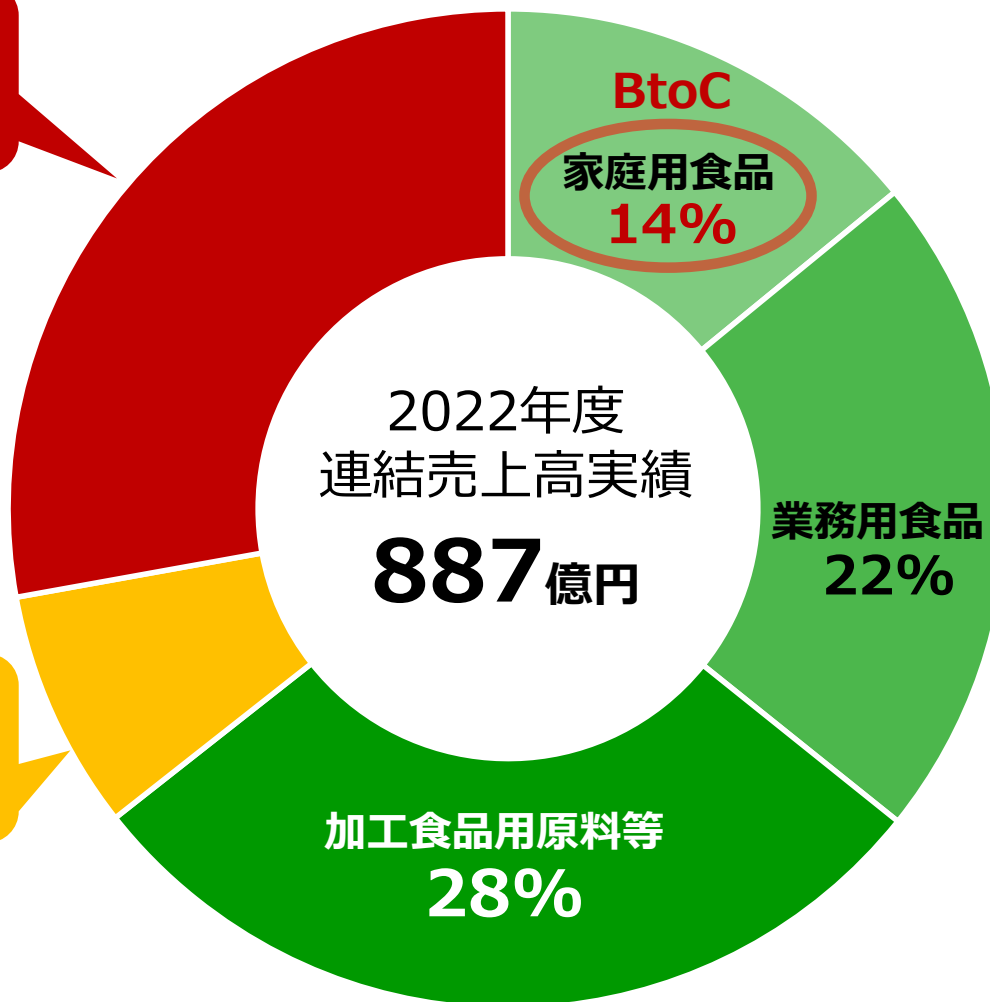
- マレーシアと天津に改良剤、アメリカにポークエキスの生産拠点
- アジア・北米地域を重点エリアとして販売を強化

売上の8割以上がBtoB事業、4分の1以上が海外

海外事業
28%



国内化成品その他事業
8%



国内食品事業
64%

家庭用食品



業務用食品



加工食品用原料等



1. 理研ビタミンの歴史

2. 事業紹介

3. 中長期的な成長戦略



わかめちゃん

4. 財務状況

5. 株主優待

<中長期ビジョン>

**持続可能な社会を
スペシャリティな製品とサービスで支え
成長する会社になる**

[基本方針]

2022年度

2024年度

2030年度

経営基盤（ガバナンス）の強化

新たな企業文化の構築

アジア・北米での展開を加速

海外スペシャリティ製品の拡大

国内の深掘りと新領域への挑戦

戦略的なポートフォリオの見直し

サステナブル経営の推進

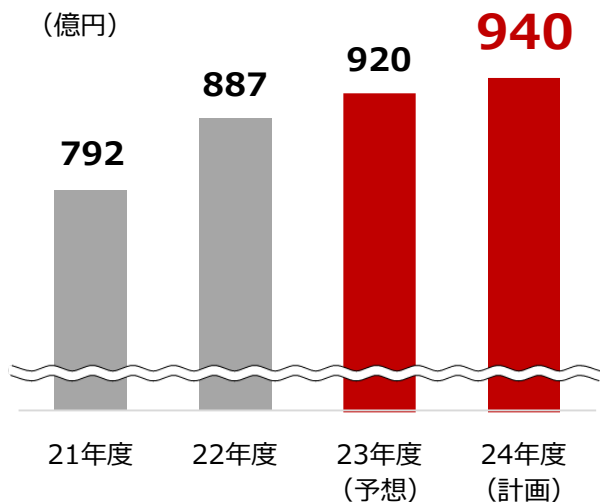
中期経営計画

安定的な収益基盤を構築

売上高

940億円

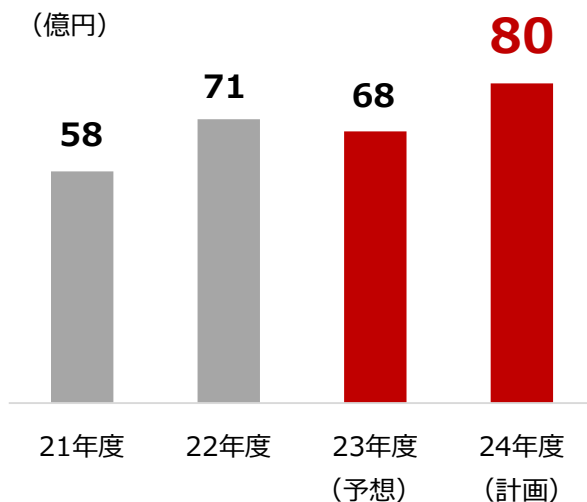
- 海外事業を成長ドライバーとし売上規模を拡大
- 3年間で売上高1,000億円を見据える水準に成長



営業利益

80億円(8.5%)

- 原材料価格等のコストは高止まりが続く見通し
- 価格改定と不採算品目の改善でコスト上昇をカバー

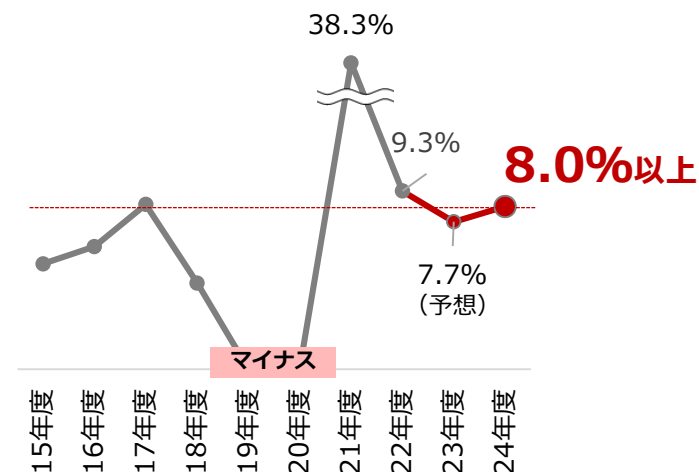


ROE

8.0%以上

- 連結除外事業※の影響で19-21年度はROEが大きく変動
- 政策保有株式の売却も進め安定的に8.0%以上を確保へ

※2021年度に売却した海外子会社



国内食品事業：独自性のある商品開発と市場の深掘り

BtoC（家庭用食品）

「ふりかけるザクザクわかめ」

- 発売開始2ヶ月で年間販売計画を達成
- メディアでも注目



「インドカレー屋さんの謎ドレッシング」

- 当初は業務用で発売
- 一部店舗で先行販売しSNSで話題に！



BtoB（業務用食品、加工食品用原料等）

既存の取引先を深掘り

- 幅広い商品ラインナップで一つの食品、一社の取引先にもさまざまなアプローチ

例) 中華まん

中の具材の味付け



イメージに合わせた着色

生地の食感をふっくら改良

サステナビリティへの取り組み

- 生産工程の改善や日持ち向上でフードロス削減
- 気候変動に伴う原材料の品質のブレの影響を低減



スペシャリティビジネスへの転換を図る

国内化成品その他事業

環境対応製品の提案強化

- 環境負荷が少ないとされるバイオプラスチック向けの改良剤を提案
- 中長期的な需要拡大を見込む



木粉相溶化剤を使用した
バイオマスプラスチック（イメージ）

化粧品向け改良剤の拡販

- 石油由来の原材料の代替需要が拡大傾向
- 植物由来の改良剤を提案



海外事業

アジア・北米を中心に高付加価値品を拡販

- 国内外の研究開発拠点の連携による提案力強化
- 天津改良剤工場の生産能力増強
- 北米エキス事業の拡大検討

日本



シンガポール



上海

海藻種苗（しゅびょう）の研究

- 2017年、海藻の種苗研究施設「ゆりあげファクトリー」開設（宮城県名取市）
- 優良種苗を選抜・生産し生産者に提供



収穫量
UP

作業負荷
低減

海藻の陸上養殖

- 2021年、海藻の陸上養殖施設「陸前高田ベース」開設（岩手県陸前高田市）
- スジアオノリをはじめ他の海藻類への応用も検討



気候変動
に対応

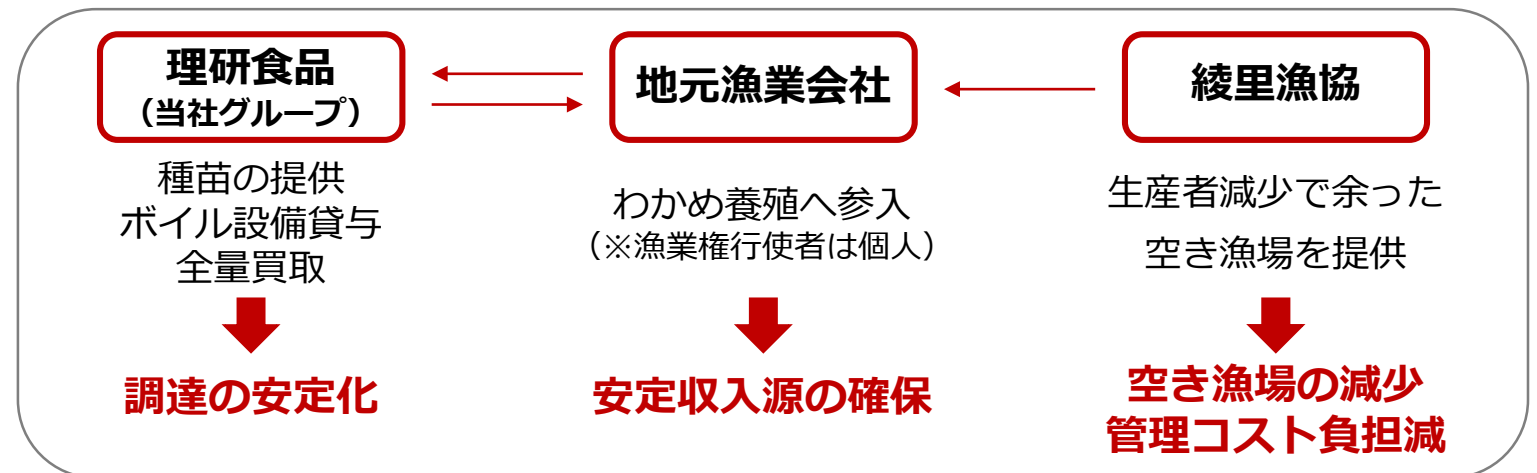
安定生産

わかめの大規模養殖の支援

- 岩手県大船渡市綾里地区の漁業会社・漁協と連携
- 空き漁場を活用したわかめの大規模養殖を支援

原料の
安定調達

地域振興



E 環境

- **温室効果ガス（GHG）排出量の削減**
2030年度 **40%**削減（Scope1,2、2018年度比）
2050年度 **カーボンニュートラル**を目指す
再生可能エネルギーの利用（太陽光発電システム）



▲草加工場



▲天津理研維他食品有限公司

- **独自の「ecoマーク」を導入**
商品の容器包装を見直し、ecoマークを表示
（プラスチック使用量の削減など）



S 社会

- **ダイバーシティ&インクルージョンの推進**
女性管理職比率 23年度末 **6%**以上
（22年度末 3.8%）
- **健康経営の推進**
健康経営優良法人に2年連続認定



G ガバナンス

- **統合報告書の発行 ⇒ 株主・投資家との対話強化**
- **女性取締役の増員**（取締役11名中、女性2名）
- **政策保有株式の縮減**
連結純資産比率 24年度末 **20%**未満
（21年度末 28.7%、22年度末 24.9%）
- **外部機関による取締役会の実効性評価**

成長を支える投資と安定した財務基盤を両立


<キャッシュイン>

<p>営業 キャッシュフロー</p> <p>250億円</p>
<p>政策保有株式の縮減</p> <p>50億円</p>

<運用計画>

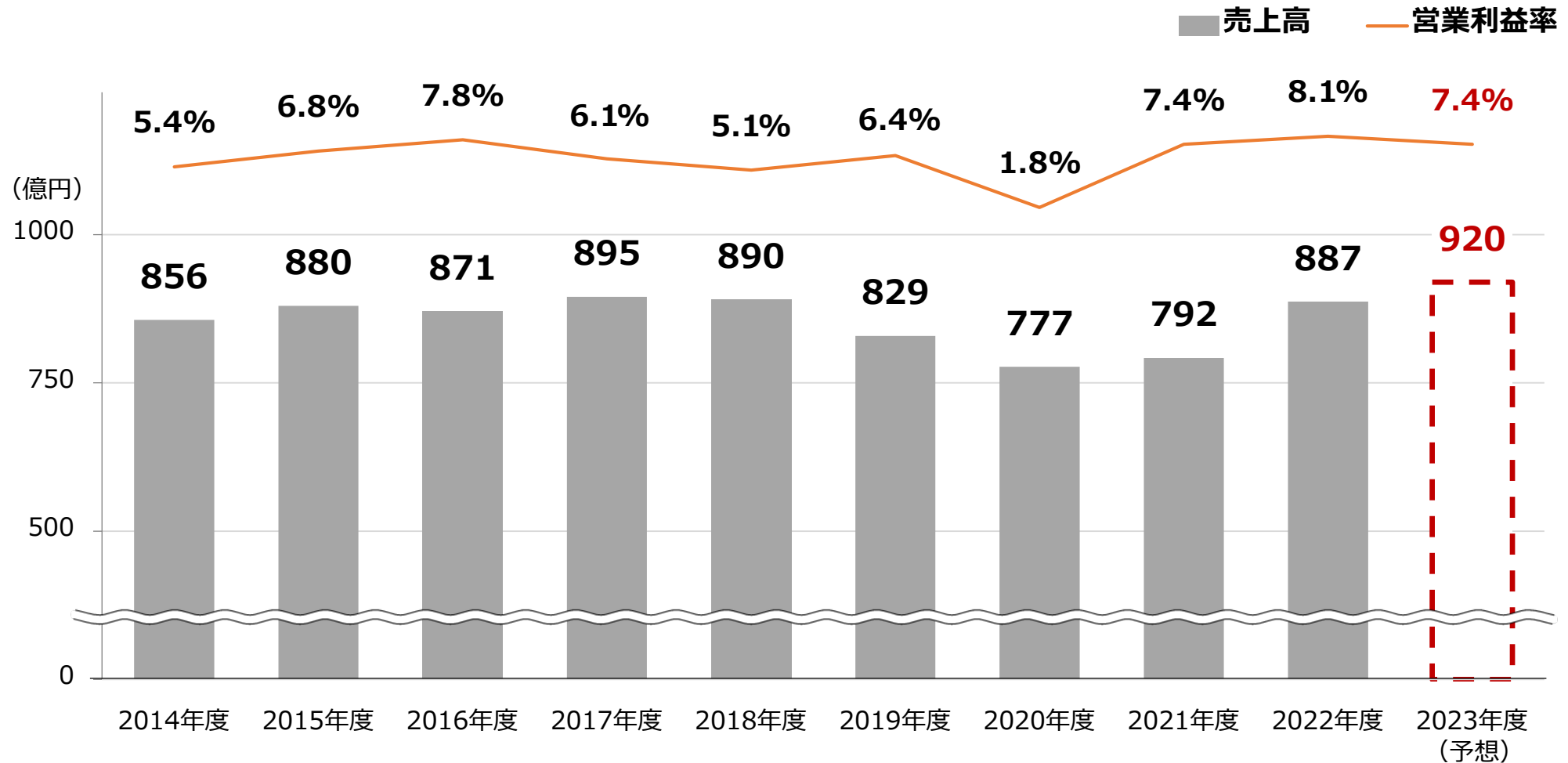
<p>設備投資</p> <p>100億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 成長投資 天津改良剤工場増築 東京工場再構築 など ● 維持・更新投資
<p>配当</p> <p>50億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 配当性向30%以上を目安とした安定した配当を継続
<p>借入金返済</p> <p>100億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大きな環境変化に耐えうる財務基盤の安定化
<p>戦略投資</p> <p>50億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人財投資 ● 追加設備投資 ● 株主還元

※金額はいずれも3年間の合計

1. 理研ビタミンの歴史
2. 事業紹介
3. 中長期的な成長戦略
4. **財務状況** 
わかめちゃん
5. 株主優待

2020年度に落ち込むも、直近では回復傾向

■ 売上高・営業利益率



前期は営業利益・経常利益が過去最高

■ 2023年5月12日発表予想

単位：百万円

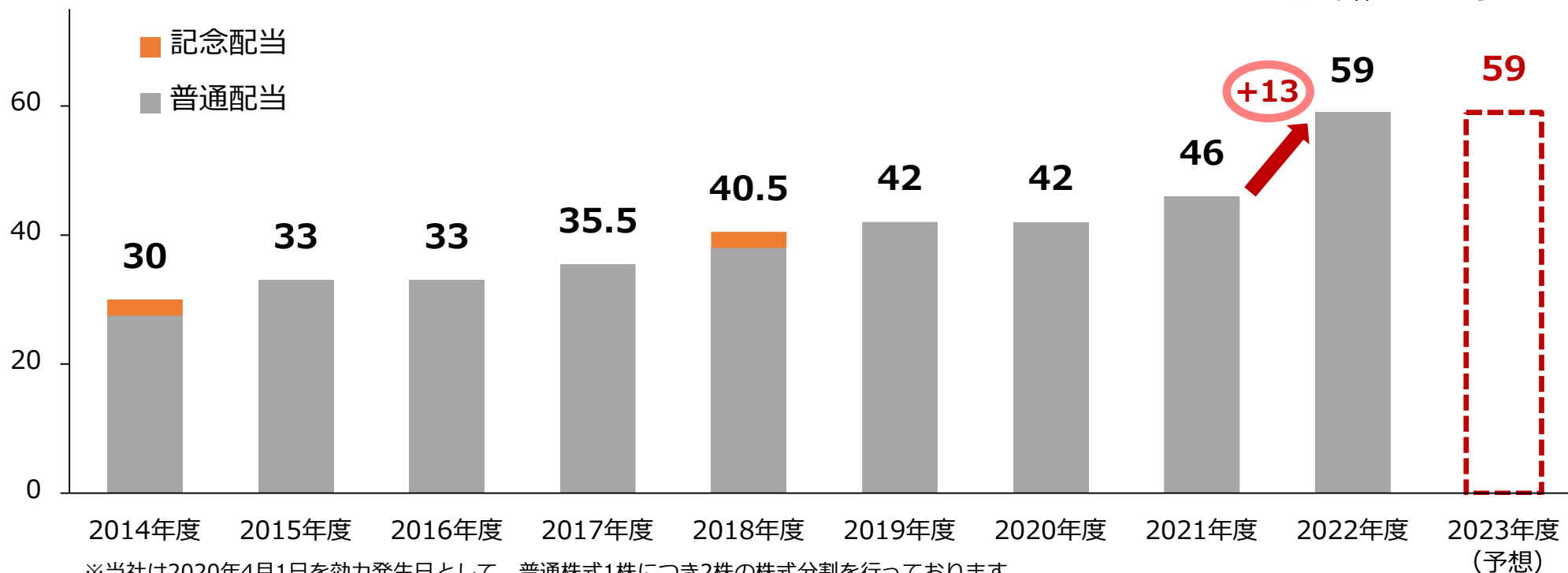
	2022年度 通期	2023年度 通期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	88,750	92,000	+3,249	+3.7%
営業利益	7,158	6,800	▲358	▲5.0%
営業利益率	8.1%	7.4%	▲0.7pt	
経常利益	7,723	7,200	▲523	▲6.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,414	5,600	▲814	▲12.7%
ROE	9.3%	7.7%	▲1.6pt	

- 前期は世界的な物流混乱に伴う顧客の在庫確保需要で海外事業が大幅伸長
- 今期は海外の特需がなくなる一方、国内の利益率はある程度回復

前期は**13円増配**の59円、今期も同額の配当を維持

■ 1株当たり年間配当金(円)

【基準日】 中間配当：9月30日
 期末配当：3月31日



※当社は2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 上記グラフ中の1株当たり年間配当金は、株式分割後の水準で記載しています。

<配当方針>

経営環境、業績、財務状況、株主還元性向、経営基盤強化のための内部留保等を総合的に勘案しながら、**連結配当性向30%以上**を目安に安定的な配当を継続して実施

1. 理研ビタミンの歴史
2. 事業紹介
3. 中長期的な成長戦略
4. 財務状況

5. 株主優待



わかめちゃん

保有株式数・保有期間に応じて自社商品を贈呈

■ 優待内容

- **年2回**、自社商品を贈呈
- 保有株式数および保有期間に応じて株主優待品のランクがアップ

基準日	発送時期（予定）
3月31日	6月下旬
9月30日	12月下旬



2,000円相当の商品例（2023年6月発送）

■ 保有株式数・保有期間の基準

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上※
100株以上、500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上、3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上	4,000円相当	5,000円相当

※毎年3月31日および9月30日の株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載された株主さまが対象となります。

※保有期間中に証券口座の変更や貸株サービスを利用された場合は、株主番号が変更となる可能性があります。

より詳しい情報は当社ウェブサイト

当社ウェブサイト内、「**個人投資家の皆さまへ**」のコーナーにおいて
当社のことをより深くご理解いただけるコンテンツをご紹介します。

本日の説明会で当社にご興味をお持ちいただけましたら、ぜひそちらもご覧ください。



理研ビタミンウェブサイト「個人投資家の皆さまへ」
➤ <https://www.rikenvitamin.jp/corporate/ir/privateinvestor/>

ご清聴ありがとうございました。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれます。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。

実際の業績などは今後の様々な条件・要素により、この計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部 広報・IR室

T E L : 03-5362-1315